

# 千葉歴史・自然資料救済ネットワーク

## 千葉資料救済ネットとは

災害時などにスムーズな情報共有と資料救済活動ができるよう、歴史資料の継承に関心を持つ県内外の有志が集って立ち上げられたボランティア団体です。東日本大震災をきっかけに設立され、今年で10年目を迎えました。

県内の関係機関・学会・自主的集団・他県の資料ネット等との連携を推進し、有効な救済活動を実現することを目的に、救済体系から漏れる恐れがある民間所在資料を主な対象に活動を展開しています。会員数は、4団体・106名（2021年現在）、事務局は千葉大学小関研究室、2016年より共同代表を置いています（久留島浩・檜皮瑞樹・小関悠一郎）。

## 2021年の活動報告

### ○茨城出身者の従軍関係資料の調査・保存活動

千葉市在住の方が所蔵していた本資料群は、いわゆる「移動する文書たち」（文書と密接に関わる地域から離れた地で所蔵される文書群）と呼ばれるものです。ともすると文化財行政から抜け落ちてしまう可能性もありましたが、所蔵者からの相談を契機に、茨城史料ネット・千葉市史編さん担当と連携して茨城県内の最終保管先へ移管することができました。復員後の生活を詳細に綴った日記をはじめ、貴重な史料が含まれる本資料群が今後、保存・活用されていくことを期待いたします。



### ○旧東京帝国大学第二工学部木造校舎の解体中止を求める要望書の提出



千葉大学西千葉キャンパスに隣接する東京大学生産研究所跡地には、戦時中に建てられた木造校舎2棟が現存していますが、大学キャンパスの移転やその後の再開発による解体計画が進行しています。当ネットでは、保存を求める要望書（歴史学研究会中心）に賛同し、連名で提出いたしました。戦時期の様相の一端を今に伝える貴重な歴史的建造物が、文化財として保全され、後世に受け継がれていくことを望みます。

### ○富津市菱田家資料の保全活動

本資料は、千葉県富津市の郷土史家のコレクションを含む資料群で、歴史・民俗・考古・自然・図書等、多種の膨大な資料です。2016年、建物の取り壊しに伴う資料廃棄の直前に、県内各機関とともにレスキューが行われ、その一部を現在まで少しずつ整理を続けてきています。2021年度は、久留里城址資料館に保管され未整理になっていた戦後教育行政に関する資料を、千葉大学に搬出して文学部で整理作業を開始しました。今後も整理・仮目録化を継続するとともに、適切な移管方法を検討していきます。



お問合せ  
入会案内

事務局：〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33  
千葉大学教育学部小関研究室  
TEL：043-290-2550  
Mail：[chibasiryounet@gmail.com](mailto:chibasiryounet@gmail.com)



▶  
ブログ



▶  
ツイッター